

様 式

要領様式 6

実地試験(中止・不合格)報告書

首席航空従事者試験官殿

先任航空従事者試験官殿

年 月 日

(試験官) _____

年 月 日 _____において実施予定の _____ 所
 属する _____ に対する実地試験は、下記の理由により（中止・不合格）した
 ので報告します。

記

(該当するものを○で囲むこと)

中止した理由	1. 天候不良 2. 使用機の故障 3. 試験官の都合
不合格とした理由	1. 欠席 2. 受験辞退 3. 受験資格の不備(備考欄に内容を記入のこと)
備 考	受験資格等()

(注)

1. 実地試験を不合格とした場合は、実地試験申込書は失効する。
2. 実地試験を中止した場合は、実地試験申込書は失効しない。

要領様式 7

年 月 日

殿

☐ 国土交通省航空局

☐ 東 京 航 空 局

☐ 大 阪 航 空 局

☐ 担当試験官名
〔 〕

実地試験不合格通知書

年 月 日の実地試験に貴殿は、不合格となったので通知します。
再び、実地試験を受けようとするときは、以下の手続きをとって下さい。

① 再訓練計画書の提出

☐ 要 : 教官又は監督者が作成した再受験までの訓練計画資料を下記
へ届け出ること。(再訓練計画書が受理されるまでは、再試験
の申込みはできません。)

☐ 不要 :

② 実地試験受験申込書関係書類に学科試験合格通知書の写し及び実地試験不
合格通知書を添えて、受験希望月の前月の 15 日までに、実地試験の実施を管轄す
る機関に提出すること。

なお、再試験は学科試験合格通知日から起算して 2 年（規則第 48 条の各号
に該当する場合は 5 年）以内に限られますのでご注意下さい。

(再訓練計画書の届出先)

☐ : 航空局安全部安全政策課首席航空従事者試験官

☐ : 東京航空局保安部先任航空従事者試験官

☐ : 大阪航空局保安部先任航空従事者試験官

要領様式 8

実地試験受験延期願

国土交通大臣殿

年 月 日

住 所

氏 名

年 月 日 において実施予定の実地試験は、
下記理由により延期をお願いします。

記

理 由	
(備考)	
1. 所 属	
2. 受験資格又は証明	
3. 次回受験希望日	年 月 日
4. 学科合格年月日	年 月 日
5. 連絡先	TEL

※注 意

1. 緊急の場合は取りあえず電話で連絡のうえ、この書類を提出して下さい。
試験官が実地試験を行うための行動を起こした後の延期願いは一切受け付けません。この場合は不合格扱いになります。
2. 新たに受験希望日が決定次第、受験希望日の前月 15 日までに、実地試験受験申込書（再申込者用）を提出して下さい。

要領様式 9

年 月 日

殿

- ☐ 国土交通省航空局
- ☐ 東 京 航 空 局
- ☐ 大 阪 航 空 局

実地試験中止通知書

貴殿が受験する予定の下記の実地試験は、中止となったので通知します。

改めて、実地試験を受けようとするときは、以下の手続きをとって下さい。

①

実地試験受験の日時、使用機材、受験場所等について、首席又は先任試験官の承認を得ること。

②

首席又は先任試験官の承認を得た場合は、別添の実地試験受験申込書(再申込者用)に実地試験中止通知書を添えて、原則として受験月の前月 15 日までに、実地試験受験申込を行った機関に提出すること。

記

1. 資 格	
2. 試験実施(予定)日	年 月 日
3. 実施場所	

要領様式 10

実地試験受験申込書（再申込者用）

国土交通大臣 殿

年 月 日

住 所
氏 名

年 月 日付けで申し込みました実地試験は、下記の日程で実施願います。

記

1. 所 属	
2. 受験資格又は証明	
3. 受 験 希 望 日	第 1 希望日 年 月 日
	第 2 希望日 年 月 日
	第 3 希望日 年 月 日
4. 受 験 希 望 地	
5. 学科合格年月日	年 月 日
6. 連 絡 先	T E L

添付資料：実地試験中止通知書

要領様式 11

- ☐ 航空局安全部安全政策課乗員資格係
- ☐ 東京航空局保安部運航課検査乗員係
- ☐ 大阪航空局保安部運航課検査乗員係 殿

年 月 日

住所

氏名

実地試験の申請添付書類の返還希望書

年 月 日付の実地試験不合格通知書を受領したので、当該実地試験に係る申請添付書類の一部返還を希望します。

返還希望書類

- ☐ 航空経歴書
- ☐ ログブックの写し
- ☐ 住民票の写し
- ☐ 学科試験結果通知書の写し
- ☐ 既得技能証明書の写し
- ☐ 外国ライセンスの写し

注意① 実地試験不合格通知書の発行日から2ヶ月以内でないと、返還希望書を提出することはできません。

② 申請書、納付書の返還は認められません。

③ 書類によっては、実地試験受付担当者が書類のチェックを行った際、記入などの行為が行われている場合があります。

(314 頁に続く)

要領様式 15

航空従事者の資格に係る英文による証明願

航空局安全部安全政策課長 殿

年 月 日

ふりがな
申請者現住所
氏 名

下記の航空従事者の資格に係る技能証明書の所持について、英文による証明書の交付を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

氏 名 (ふりがなをつける)	性 別	生年月日	本 籍
資格・技能証明書番号及び交付年月日			
航空身体検査証明書の番号、種別及び有効期限			
英文による証明を必要とする事由			
渡 航 先 渡 航 期 間			
備 考			

※帰国後は速やかに返納いたします。

要領様式 16

技能証明等の記載事項変更届

航 空 局 長 殿

(指定航空身体検査医)

年 月 日

届出者住所

氏名

下記の技能証明書等の記載事項の変更についてお届けいたしますので、その確
認及び変更をお願いいたします。

記

1. 技能証明書等の資格等	
2. 技 能 証 明 等 の 番 号	
3. 変 更 事 項	新
	旧

要領様式 17

操 縦 練 習
計器飛行等の練習

監督者指定申請書

国 土 交 通 大 臣 殿

年 月 日

住所

氏名

航空機の操縦練習（計器飛行等の練習）監督者の指定を受けたいので関係書類を添えて申請します。

氏 名（ふりがな）

性別

生年月日

本 籍（外国人にあつては国籍）

練習に使用する航空機の種類、等級又は型式

監督する練習の内容

現に有する航空従事者の資格及び技能証明書の番号

航空身体検査証明書の番号及び有効期間

当該航空機を操縦することができる技能証明を有する者の監督を受けることが困難な理由

備 考

この申請書（2通）に次の書類を添付すること。

1. 飛行経歴その他の経歴を有することを証明する書類
2. 現に有する技能証明書及び航空身体検査証明書の写し
3. 外国政府の授与した航空機の操縦の技能に係る資格証書を有する者にあつては、当該資格証書の写し

要領様式 18

技能証明の下級資格への切替え等申請書

国土交通大臣 殿

年 月 日

申請者 住所
氏名

私は航空従事者としての現有資格等を放棄し、下記のとおり

- ☐ 下級資格への切替え

☐ 限定事項の一部取消し
- }
- を申請します。

記

1. 現有資格等

(1) 技能証明書等の資格	
(2) 技能証明書の番号	
(3) 限定事項	

2. 申請しようとする内容

(1) 技能証明書等の資格 (限定事項の一部取消しを除く。)	
(2) 限定事項 (取消しを申請する場合は取り消す限定事項を記入する。)	

(注) □内のどちらかに✓印を付すこと。

航空経歴書

〔 操縦士（飛行機・回転翼航空機・飛行船）
航空機関士・航空士 〕

ふりがな	-----		生年月日	年	月	日
氏名			年齢	歳		
現住所	TEL					
所属 (会社等)	TEL					

期 年・月～年・月	所属（学歴及び職歴）	業務 （含訓練）	修得機種型式	飛行時間
・～・				：
・～・				：
・～・				：
・～・				：
・～・				：
・～・				：

航空身体検査証明書	身体検査基準	第	種
	番号	第	号
	交付年月日	年	月 日
	資格	格	号
無線従事者免許証	番号	第	号
	免許年月日	年	月 日
	免行	国	日
	免資	格	号
外国の技能証明書 （外国ライセンスを 切り替える者に限る）	番号	第	号
	免資	格	号
	航空機の種類	第	号
	番号	第	号
既得技能証明書	番号	第	号
	免資	格	号
	航空機の種類	第	号
	番号	第	号
練習許可書 （操縦練習生に限る）	番号	第	号
	免資	格	号
	航空機の種類	第	号
	番号	第	号

飛行経歴の区分

項 目	航空機の種類		
	飛行機	回転翼航空機	飛行船
総飛行時間⑧	：	：	：
総飛行⑨	：	：	（回）
機長見習業務等⑪	：	：	：
野外飛行⑫	：	：	：
夜間飛行⑬	（回）	（回）	：
単独飛行⑭	：	：	（回）
野外飛行⑫	：	：	：
野外飛行⑫⑯	：	：	：
夜間飛行⑬⑰	：	：	：
同乗教育飛行⑮	：	：	：
計器飛行⑯⑱⑳㉑	（；）	（；）	（；）
模擬飛行装置㉒	：	：	：
飛行訓練装置㉓	：	：	：
オートロデイション着陸		回	

航空機関士としての総飛行時間	：	航空士としての総飛行時間	：
当該機種の操縦飛行装置での飛行時間	：	天測航法	：

野外飛行（技能証明申請に係る航空法施行規則表第二で定める野外飛行及び生地着陸に該当する飛行の内訳（最新の当該機種の操縦飛行装置での飛行時間）もを記入すること。）

実施年月日	年	月	日	総飛行距離	km
出発地				最終目的地	
生地着陸地					

上記のとおり航空法施行規則表第二の経歴を充足していることを証明する。

（所属、職名、氏名）
技能証明の資格
技能証明の番号
操縦教育証明の番号

氏名

航空経歴書 (滑空機操縦士)

ふりがな氏	-----	生年月日		年 月 日
		年	令	
現住所	TEL.			
所属 (クラブ等)	TEL.			

保有資格等

操縦練習許可書	番号	号	第	号
	交付年月日	日	年	月 日
航空身体検査証明書	検査番号	基準号	第	種
	番号	号	第	号
無線従事者免許証	資格番号	格号	第	級
	番号	号	第	号
	免許年月日	日	年	月 日
既得技能証明書	資格	格		
	航空機の種類	種類		
	番号	号	第	号

飛行経歴の区分

上級滑空機

項目	ウインチ又は自動車曳航	航空機曳航	合計
滑空時間	：	：	：
機長時間	：	：	：
単独時間	：	：	：
曳航による滑空回数	回	回	回
機長回数	回	回	回
単独回数	回	回	回
失速からの回復	回	回	回

動力滑空機

項目	滑空機	飛行機	合計
滑空時間	：		：
単独滑空	：		：
同乗教育滑空	：		：
滑空着陸回数	回		回
動力飛行時間	：	：	：
単独飛行	：	：	：
同乗教育飛行	：	：	：
動力着陸回数	回	回	回
失速からの回復	回	回	回

野外飛行 (技能証明申請に係る航空法施行規則別表第二で定める野外飛行及び生地着陸に該当する飛行の内訳 (最新のものを記入すること。))

実施年月日	年	月	日
-------	---	---	---

出 発 地	生地着陸地
最終目的地	
総飛行距離	km

上記のとおり航空法施行規則別表第二の経歴を充足していることを証明する。

年 月 日

(所属、職名、氏名)

技能証明の資格

技能証明の番号

操縦教育証明の番号

要領様式24

航空経歴書

〔一・二等航空整備士
一・二等航空運航整備士
航空工場整備士
運航管理者〕

ふりがな			生年月日	年	月	日
氏名			年	令	才	
現住所	TEL.					
所属(会社)	TEL.					

学歴 (訓練・養成学校を含む)

年・月	～	年・月	学	校	名	課	程
・	～	・					
・	～	・					
・	～	・					
・	～	・					
・	～	・					

職歴

年・月	～	年・月	所	属	業	務	内	容	航空機の型式
・	～	・							
・	～	・							
・	～	・							
・	～	・							
・	～	・							
・	～	・							
・	～	・							

上記のとおり航空法施行規則別表第二の経歴又は同第167条の経験を充足していることを証明する。

年 月 日

監督者又は使用者等の証明

(所属、職名、氏名)

(記入要領)

1. 「学歴 (訓練・養成学校を含む)」の欄
最初に航空歴に関係のない最級学校、次に航空歴に関係のある学校又は教育機関の順に記入のこと。
2. 「職歴」の欄
航空に関係のある職歴を古い順に記入すること。
3. 「業務内容」の欄
訓練生の場合は「訓練」と記入し、職歴の場合は「見習」「研修」「訓練」「自家用」「整備」等と記入すること。
運航管理者については業務内容を具体的に記入すること。
4. 「航空機の型式」の欄
(1) 修得した航空機の型式を記入すること。
(2) 工場整備士については業務の種類について記入すること。
5. 別表第二按すい
一 整：6月以上の整備の経験を含む4年以上の航空機の整備
二 整：6月 " 3年 "
一、二運整：6月 " 2年 "
工 整：2年以上の整備及び改造